

UNIQUE VENUES KAGOSHIMA

鹿児島県ユニークベニュー活用促進事業事例集

令和3年度版

鹿児島県観光・文化スポーツ部文化振興課

ユニークベニユー活用促進事業事例集（令和3年度） 目次

令和3年度 ユニークベニユー活用促進事業概要	1
令和3年度 ユニークベニユー活用促進事業実施団体一覧	2
File01 石橋×伝統芸能	3
File02 武家屋敷群×ライトアップ×神舞	4
File03 神話ゆかりの地×伝統・創作芸能	5
File04 文化ゾーン×文化イベント	6
File05 霧島アートの森×即興パフォーマンス	7
File06 史跡×ライトアップ×映画	8
File07 水族館×音楽 ×朗読	9
File08 歴史的建造物×伝統芸能	10
File09 歴史的建造物×大衆芸能	11
新聞記事	12

表紙写真（表）：霧島アートの森における即興パフォーマンスイベント
（コンタクト・インプロビゼーショングループClco）

表紙写真（裏）：知覧武家屋敷群におけるライトアップイベント
（ちらん灯彩路実行委員会）

県内各地にある様々な歴史・文化資源をイベント等の会場として積極的に活用し、その価値や魅力を広く発信することにより、県民の文化芸術に関する関心を高めるとともに、県内外からの誘客の促進や交流人口の拡大を図る。

事業概要

- 1 地域の歴史・文化資源を生かしたイベント等の開催支援 15,000千円
補助率 補助対象経費から入場料等収入を控除した額の2/3以内)
上限額 300万円
- 2 選定委員会の開催, 報告書等の作成等 629千円

補助対象事業

地域の美術館・博物館, 神社・仏閣, 文化財等を活用したイベント等の開催
 (※県内のモデル事例)

- ・文化財等の魅力や特徴を生かしたもの
- ・鹿児島ならではの伝統・歴史を体感できるもの
- ・文化財等の保存に影響を与えないもの
- ・誘客や交流人口の拡大, 地域の活性化に資するもの
- ・今後の活用促進につながるもの など

補助対象者

- ・文化芸術団体, 観光団体, 商工団体, 民間事業者, NPO
- ・市町村・民間事業者等で構成する実行委員会 など (市町村単独は対象外)

ユニークベニューとは

特別な場所×イベントで特別な体験を創造すること



博物館や世界文化遺産でのコンサート



史跡での
ディナーショー



歴史的建造物での
アートイベント

期待される効果

- ① 施設や文化財等の認知度向上
- ② 施設等の利用料収入
- ③ 交流人口拡大, インバウンドを含む誘客の促進
- ④ 地域の活性化, 地域のブランド力向上

令和3年度 ユニークベニュー活用促進事業実施団体一覧

No	団体名	事業名
1	薩摩文化の祭典 IN石橋記念公園実行委員会	学ぼう・遊ぼう” 秋のお祭り” 「薩摩文化の祭典」
2	ちらん灯彩路実行委員会	南九州市あかりの道標～ちらん灯彩路
3	NPO法人 神代の守り人	鹿児島県民の祖「隼人」を生んだ神話が織り なすユニーク鹿児島文化創造事業
4	かごしま文化ゾーン 地域活性化実行委員会	かごしま文化ゾーンを活用した 地域活性化事業
5	コンタクト・インプロビゼーショング ループClco	踊る！彫刻の森劇場
6	NPO法人 指宿ムービープロジェクト	映像で歴史が現代と出会う。
7	スマイルミュージックプロジェクト かごしま	黒潮が運ぶ文化の継承 ～クラシック音楽・奄美シマ唄・落語の饗宴
8	芸能舞踊スタジオ ブブ	鹿児島の郷土芸能文化マルシェ Vol1
9	株式会社Sitiera	住吉社中のおでばり 旧田中家別邸編／旧東 郷医院編／県民教育文化研究所編



1 主催

薩摩文化の祭典IN石橋記念公園実行委員会（鹿児島市）

2 イベントの概要

石橋記念公園における伝統芸能イベント

3工夫したポイント

- 未来を担う子どもガイドや高校生ボランティアにこのイベントへの積極的な関与、活躍の場を作り、更なる盛り上げを図ることとした。
- 公園の持つ立地条件を生かすため、地元町内会や「まちの駅」、地域おこし関係団体と密接な連携を図り、当行事への参加の促進を図ることとした。
- 特にライトアップされた西田橋と西田橋御門の夜間の魅力の発掘をねらいとして、これらの環境を活かしたイベントを実施することとした。
- 駐車場が100台程度のスペースしかないことから、周辺国道事務所や指定管理者の駐車場の協力をお願いすることとした。

4 実施にあたっての課題

- 資金面の確保、コロナ対策、出演団体の固定化
- 誘客促進

武家屋敷群
×
ライトアップ
×
神舞

南九州市
知覧町
知覧武家屋敷庭園群



1 主催 →
ちらん灯彩路実行委員会（南九州市）

2 イベントの概要 →
知覧武家屋敷群におけるライトアップと芸能イベント

3 工夫したポイント →

- ・ 知覧武家屋敷庭園群や会場周辺の駐車場を無料開放することにより、市内外の方にも来場してもらうように工夫した。
- ・ 地元の小学校、幼稚園、保育園に和紙灯ろうの絵を描いてもらうことや自分の描いた絵の灯ろうを持ち帰り可能にしたことで、親・兄弟姉妹・祖父母等の家族での来場者が増えた。
- ・ 地元の小学校、幼稚園、保育園には実行委員会が依頼し和紙灯ろうの絵を描いてもらっている。その他にも一部の小学校では授業の一環で、和紙灯ろうや陶器灯ろうの製作、イベント当日には灯ろう設置を行うことにより、地域の活動・取組を学ぶことで郷土愛を育んだ。

4 実施にあたっての課題 →

- ・ 受付を3カ所設置し、新型コロナウイルス感染症対策を行ったが、神舞会場である知覧型二ツ家と旧高城家住宅では人数制限を行わなかったことや会場整理の担当を置かなかったため、観客が大勢押しかけ、敷地内が密集した。
- ・ 文化財は「守る」ことが大前提であるが、「活用」し魅力を引き出すことも必要であり、この2つを共存・両立させていくことの必要性を感じた。

イベント名称：南九州市あかりの道標
～ちらん灯彩路

日時：令和3年11月13日（土）17:00-20:00
参加人数：1,600人



1 主催 →
NPO法人 神代の守り人（薩摩川内市）

2 イベントの概要 →
神話ゆかりの地における神話関連の文化芸術イベント

- (1)ニニギノミコト上陸の地「笠沙」における神話絵画展示と神話関連伝統芸能イベント
・日時：令和3年7月14日（水）～8月2日（月）
- (2)天孫降臨の地「霧島」における神話関連の文化芸術イベント
・日時：令和3年12月24日（金）～25日（土）

3 工夫したポイント →

- ・ 多数のラジオ番組出演によるイベントの告知や新聞取材による告知を行った。
- ・ 鹿児島県の観光団体、経済団体を主に訪問し本事業の目的と今後の展望を話し協力関係を深めた。
- ・ 霧島国分高校ダンス部にイベントの演者として参加してもらい何回も学校に足を運び本事業の目的を共有し、継続して地域で取り組む下地をつくった。
- ・ 神話に関係する文化施設として真っ先に神社が挙げられるが、鹿児島県内の神社施設で多くの人を収容する施設が少ないため、神社で奉納催事を行い、近くの大きな会場をサテライト会場にして交流の場を設けた。

4 実施にあたっての課題 →

- ・ 地方の文化施設はほとんど公共施設なので大きな会場の予約は1年前から、音響照明の仕込みやリハーサルを含めて最低2日間の事前予約が必要となるため、早い段階から事業計画を組む必要がある。
- ・ 地域とコラボしながら地域の特性を活かし演出するにはしっかりとその事業の目的を地域団体と共有し断続的な打ち合わせが必要となる。

イベント名称：鹿児島県民の祖「隼人」を生んだ 日時：令和3年7月14日-12月25日
神話が織りなすユニーク鹿児島文化創造事業 | 参加人数：約2,000人



©2022 在本彌生

1 主催

かごしま文化ゾーン地域活性化実行委員会（鹿児島市）

2 イベントの概要

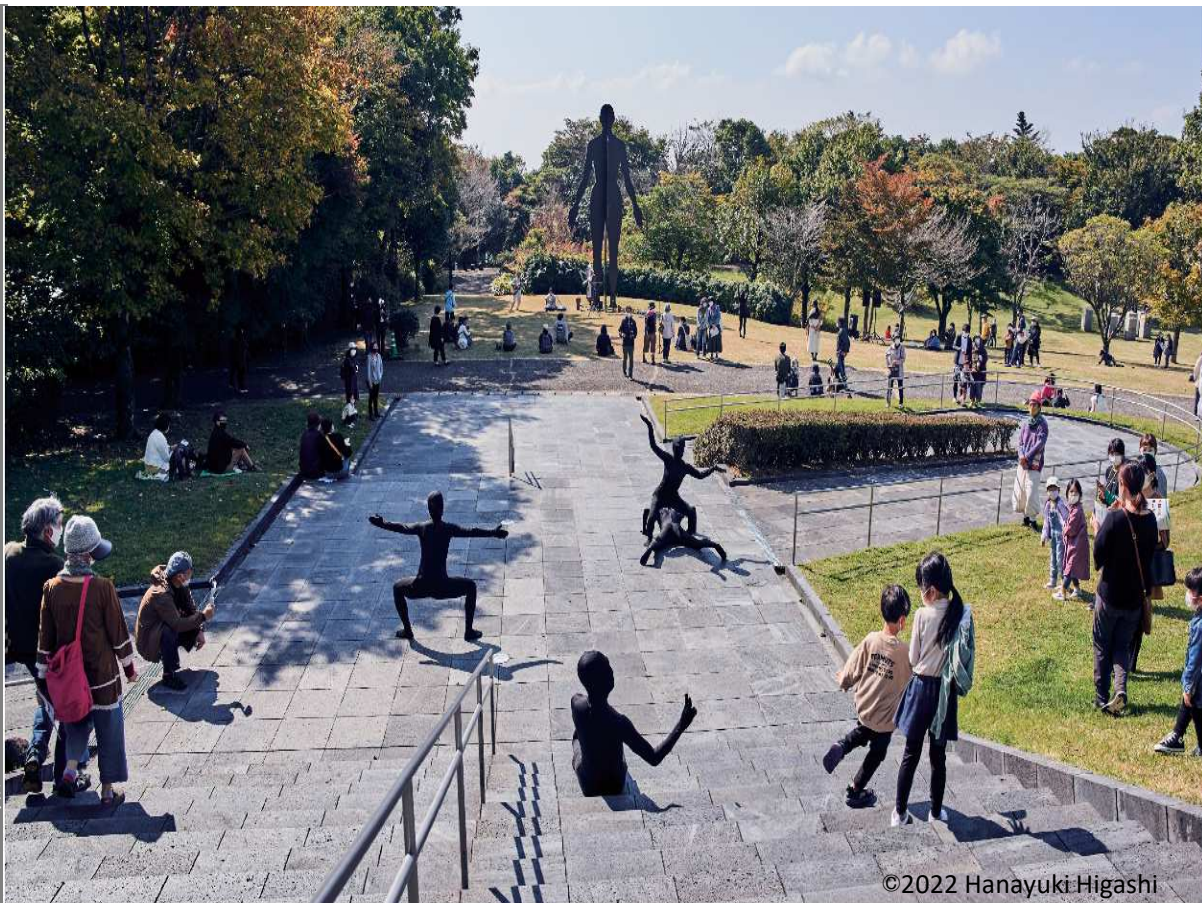
かごしま文化ゾーンにおける総合文化芸術イベント

3 工夫したポイント

- ・ 各施設が持つ特有の資産を活用した各種イベントをかごしま文化ゾーンというエリアで広く多面的に魅せ、文化資産を数多く保有するエリア・施設がある場所として認知されるよう、官民一体となってお互いがもつSNS等で告知協力を行った。
- ・ 会場や回遊ツールなど多様な接点を設けたことで、各こどもから大人まで広くアプローチを設けた。
- ・ 世代や趣向によって文化ゾーンへとアクセスしやすい手法を選択できるアナログ（紙）とデジタルの両方を準備したことで、ストレスなく回遊が楽しめるようにした。
- ・ ユニークベニュー施設一体型施策として共通のキービジュアルを用いて告知を図った。
- ・ 各施設をモチーフとした幾何学模様（アイコン）を作成し、これまでにないエリアの印象や雰囲気づくりを行った。

4 実施にあたっての課題

- ・ 実行委員会は、民官合わさり関係者が多く、また、今年度が初めての連携施策であったため、それぞれの得意な面を充分活かしきれない面があった。
- ・ 今後も連携施策として一過性で終わることなく継続していくための体制や資金集めが課題のひとつとしてある。



©2022 Hanayuki Higashi

1 主催

コンタクト・インプロビゼーショングループClco（伊佐市）

2 イベントの概要

鹿児島県霧島アートの森における即興パフォーマンス

3 工夫したポイント

- ・ 霧島市立国分中央高校ダンス部に出演依頼。地元の若者が出演する事で誘客増加を図った。
- ・ 会場であるアートの森に協力いただき、湧水町・伊佐市の教育委員会を通し小中学校へチラシ配布
- ・ コロナ対策として、館内でのパフォーマンスは客席数を限定し、パフォーマーと客席の距離も一定に保持
- ・ 毎年開催の「霧島アートの日」に合わせて開催することで、集客を容易にし、イベント拡大を図った。

4 実施にあたっての課題

- ・ コロナ対策・安全性の確保を一生懸命行う前に、心身の正常さについて検証・検討・共有し、その充実・強化を図り提示していく事が送り手・担い手のすべきことと考える。
- ・ 「コロナによる人類へのダメージを芸術分野から回復していく」を掲げ続けていきたい。
- ・ 今回のベニューは現代美術の美術館とは言え、20年の歴史を持つ。20年前と現在の世相の折り合い・問いかけに、今の芸術が挑むことにコラボレーションの意味がある。単に場所の特性を活かすだけではなく、作家と時代への問いかけを「100%の主張と100%の協調」の理論から持ちかけてみるのも一つの課題と考える。

イベント名称：踊る！彫刻の森劇場

日時：令和3年11月3日（水・祝）11:00-16:00
参加人数：1,729人



1 主催

NPO法人 指宿ムービープロジェクト（指宿市）

2 イベントの概要

戦跡や江戸期の堤防跡におけるライトアップと関連映画上映イベント
（令和3年10月23日，11月13日，12月11日，令和4年1月15日）

3 工夫したポイント

- ・ 荒天時に備え、戦跡に立地するホテルの協力をいただきホテル内の会場を確保した。
- ・ コロナウイルス感染拡大防止のためドライビングシアターに変更したり，延期のため厳寒期に実施したイベントについては，寒さ対策のため当初予定を変更してホテル内での会場で上映を実施するなど，臨機応変に対応した。
- ・ 地元の小学校，南薩各地の資料館等から関連資料を借用し，展示することで臨場感を演出した。
- ・ 教育委員会を通じて地元の小中高等学校にパンフを配布したり，ホテルに配布するなど周知を図った。

4 実施にあたっての課題

- ・ 当初戦争が行われた現地での上映を予定していたが，所管省庁の許可が得られず戦跡内にあるホテル敷地での上映となった。
- ・ 当初の計画では暖かい時期に実施予定であったが，コロナウイルス感染拡大により延期した結果，寒い時期に開催したイベントでは参加者が減少した。
- ・ コロナ禍においても集客できるよう，今回の経験を踏まえ，実施方法や情報発信について様々な選択肢を駆使し，人類が育んできた文化を次世代に継承したい。

イベント名称：映像で歴史が現代と出会う。

日時：令和3年10月～令和4年1月（4回）
参加人数：180人

水族館
×
音楽
×
朗読

鹿児島市
いおワールド
かごしま水族館



1 主催

スマイルミュージックプロジェクトかごしま（鹿児島市）

2 イベントの概要

黒潮大水槽前での音楽と朗読のコラボレーション

3 工夫したポイント

- ・ 18:00の水族館閉館と同時に受付を行い、19:00の開演時間まで貸切での水族館見学と特別なイルカショーの観覧を楽しんでいた後の公演鑑賞とした。
- ・ 公演制作・上演をスマイルミュージックプロジェクトかごしま、広報や宣伝、当日の運営をかごしま水族館が請け負い上演にあたっての分業がしっかりできたことで作品作りが非常にスムーズに出来た。
- ・ 高座など普段公演で使用する備品や音響、照明を会場既存のものを出来るだけ使用し、作品の質を保ちながらもユニークベニューでの公演制作のハードルが上がらないように工夫した。
- ・ コロナ対策について 募集はグループ単位で行い、当初の席数はMAXで100席を予定していたが、蔓延防止の観点からグループごとの間隔を2m以上空けるため席数を大幅に減らし25席での公演開催とした。

4 実施にあたっての課題

- ・ ユニークベニューと普段のコンサートホールなどの場所の違いを演者も観客もしっかり受け入れることが出来る環境作りをより積極的に行うとともに、それぞれのジャンルの新たなファン開拓を視野に入れたコラボレーションを積極的に行っていきたい。
- ・ ポストコロナの新たな観光資源、観光地の誘客となるようなイベント作りを念頭にユニークベニュー活性の先駆け県となれるような仕掛けを考え、地方から各都市、海外へ発信していきたい。

イベント名称：黒潮が運ぶ文化の継承
～クラシック音楽・奄美シマ唄・落語の饗宴

日時：令和4年1月30日（日）18:00-20:00
参加人数：25人



1 主催

芸能舞踊スタジオ ブブ（鹿児島市）

2 イベントの概要

鹿児島中央公民館前広場における伝統芸能イベント

3 工夫したポイント

- ・ 設営側と出演者側からも、前例の無い場所・会場での試みに対し見直し等二転三転したが、事前にリサーチした経過報告や、こちらの想いを伝え、協力を呼びかけた。
- ・ 舞台と会場、zoom配信中の入室許可や、出店店舗側とzoom参加者側とのやり取り、ご来場者側とのやり取り等、ほぼ毎日のように打ち合わせし、意思の疎通を図った。
- ・ 離島や大隅からの出店者が声が上がる中、感染防止対策必須・蔓延防止発令あり、無観客に切り替えた。
- ・ イベント実施2週間前に、マルシェ側からの最終出店店舗と、市をまたがない条件で商品を最小限にとの取り決めをした。
- ・ 各方々から登り旗を送ってもらい、会場を賑やかに華やかに演出した。

4 実施にあたっての課題

- ・ 今回は街中で実施したことで、運営・出演の関係者の駐車場確保がままならず、搬出入作業以外の駐車場へ移動する往復ロスタイムが生じた。
- ・ 感染症とイベント実行の有無は、これからの永遠の課題であると思う。屋外イベントは、天候のリスクがあり、余分に雨天時予算と2種類準備する必要がある。
- ・ 出演者控室について、不足する分を少し離れた施設で確保した。

歴史的建造物
×
大衆芸能

志布志市
志布志町
旧山中氏邸
ほか



1 主催

有限会社 Sitiera（鹿児島市）

2 イベントの概要

有形文化財を舞台とした伝統的な大衆芸能イベント

3 工夫したポイント

- 地域の協会や役所、地元のお店などにも協力いただき、案内周知に努めた。
- イベントの様子を動画サイト等で配信を行うことで周知に繋げた。
- 普段は観覧程度のみ可能である各会場の、内部の設営や照明に工夫を凝らし、会場が現代に蘇ったような意識を持ってもらえるようにした。
- 会場となる建物だけでなく周辺の地域の魅力を発信できるよう努めた。
- 老朽化により立入りや接触が制限されるエリアがあった会場では、清掃や整理によって清潔感を大切にしつつ現状を崩さないよう、制限エリアを設けた会場づくりを行った。また、危険箇所をあらかじめスタッフ間で共有し、お客様の誘導を的確に行った。
- 各会場において、行政や地域の協力のもと駐車場の確保と場所の周知に尽力した。

4 実施にあたっての課題

- 歴史的建造物の名前を持ちながらも、認定のみにとどまり、保存や保全、有効な活用にまでは至っていない会場が非常に多かったこと、また管理者の意識が（保存や活用の面で）非常に低い会場・地域が多くあったことも確認できた。
- 県内には県民の知らない、しかし周知・活用し大切に受け継いでいくべきユニークベニューが数多く存在することを、本事業を通して訴えていくことが大切であると痛感した。

イベント名称：住吉社中のおでばり
旧山中氏邸/県民教育文化研究所/旧田中家別邸編

日時：令和3年10/10, 10/30, 11/14
参加人数：82人

令和3年12月21日(火) 南日本新聞

特攻の歴史 戦跡でたどる 指宿



指宿市の旧陸軍地区で1日、太平洋戦争の戦跡めぐりと並行した上映会があった。ゆかりの地を作品を鑑賞するユークレニーの取り組み映画を制作した指宿市「ヒーロープロジェクト」が主催した。

証言集めた映画も鑑賞

上級や小規模「特攻」の特攻基地となった。参加者は、海軍基地に属する防空隊や農作の隊員、鹿児島山中に送られた陸軍兵などの戦跡をたどって、遺族が作った歴史立って休戦指宿で戦争体験の証言を集めた映画「指宿の戦跡をたどる」(2014年)を鑑賞した。

令和3年10月31日(日) 南日本新聞

幕末の海商「太平洋旅立ち」



指宿で野外上映

ゆかりの地で上映される映画「太平洋旅立ち」＝指宿市の指宿シーサイドホテル駐車場

幕末の指宿の海商・船主が活躍する3年、市内で製作された映画「太平洋旅立ち」の上映会が21日、指宿市の指宿シーサイドホテル駐車場で行われた。指宿の歴史を伝える映画「太平洋旅立ち」の上映会が21日、指宿市の指宿シーサイドホテル駐車場で行われた。

令和3年12月4日(土) 南日本新聞

鹿屋ゆかりの曲など披露し、修学旅行生をもてなす音楽会ら＝3日、鹿児島市の清泉ホテル中野館(清水治典撮影)



鹿児島の音楽で歓待

鹿児島の音楽で歓待 修学旅行生を歓迎 清泉ホテル中野館(鹿屋)で3日、鹿児島市の清泉ホテル中野館(清水治典撮影)で修学旅行生をもてなす音楽会が行われた。

令和3年12月9日(木) 朝日新聞

25日に霧島で上演

バレエダンサー 西島さん主演



霧島市立舞踊団が25日、霧島市で上演するバレエ「海神」の練習風景を捉えた写真展が開かれた。

神話を体感 音楽劇

霧島市立舞踊団が25日、霧島市で上演する音楽劇「海神」の練習風景を捉えた写真展が開かれた。

令和3年12月24日(金) 南日本新聞



地元の歴史へ思い込め

国分中央高ダンス部 あす神話音楽劇出演 霧島市立舞踊団が25日、霧島市で上演する音楽劇「海神」の練習風景を捉えた写真展が開かれた。

令和3年12月26日(日) 南日本新聞

国宝と創作舞踊 競演 霧島神宮で西島さん主演



霧島市立舞踊団が25日、霧島市で上演する音楽劇「海神」の練習風景を捉えた写真展が開かれた。



鹿児島県ユニークベニュー活用促進事業事例集
(令和3年度版)

2022年3月

鹿児島県観光・文化スポーツ部 文化振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL 099-286-2506

E-mail tsurumaru-c@pref.kagoshima.lg.jp